

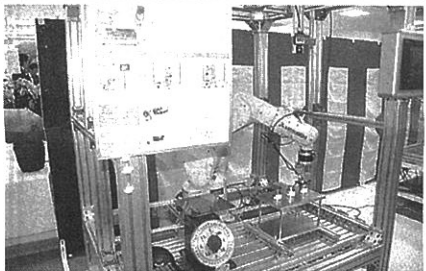
ロボットパークひろしま開設

森脇社長「中国・九州で導入のお手伝いしたい」



森脇 社長

【広島】産業用ロボットを中心としたロボットショールーム「ロボットパークひろしま」（広島市南区）が15日オープンした。オープンさせたのは制御と電子の総合商社



「三光電業」（広島市西区）で、当日はオープン

ングセレモニーが開かれた。

森脇喜美代社長は「この場所で当社が大きくなつた。ここを活用したい」と思い展示会場とした。

ロボットのショールームを企画してから1年、東京で交渉し、1年社員が研修に出て、開所の準備に1年と

合計3年の月日がたつた。この場所での中国、九州地区のロボットの導入のお手伝いをしたい。ロボットに関するトータルアドバイザーの役目を果たしたい」とあい

さつした。

来賓を代表して、三菱電機中国支社FAシステム部の岩田州司部長は「製造業界は労働力人口不足が課題になっている。また、労働力の高齢化に伴う技能伝承不足によるスキル低下も大きな課題である。これらを解決するキーコンポーネントがロボット。ロボットは導入すればすぐに成果が出るものではない。様々な悩み、課題を解決するのがロボットパークひろしま」と祝辞を述べた。

この後、出席者がロボットパークを見学し、懇親会に移った。

ロボットパークひろしまは、人協働双腕ロボット「NEXTAGE」「垂直多関節ロボット」「三菱電機RVFRシリーズ）プラス三次元ビジョンセンサ」「垂直多関節ロボット（同）プラス力覚センサ」の3台を常設している。

ロボットパーク責任者の谷口隆治次長は「これまでの経験と知識をフル活用し、最新の情報を取り入れてスタッフ一丸となつてロボットパークを盛り上げていきたい」とあいさつした。